

ミライの農業をつくるオンライン講座 授業活用プラン

「放牧酪農」編 50分ver



希望に合わせてパターンA・Bからプランを選択する。

パターンA：授業は動画視聴を中心とし、ワークシートは必要に応じて復習教材として活用する。

パターンB：授業内でワークシートを活用する。

活動 (時間)	教員の指導	学生/生徒の活動	使用するもの
【おさらい】 2分	動画のポイントを簡単に振り返る。 ・放牧にもいくつか方法があり、輪換放牧では放牧地を柵で区切って牛を移動させることで、牛に効率的に牧草を食べさせることができる。 ・牛乳の販売に限らないイベント等を企画することで新しい顧客の獲得やお店自体のファンを増やすことにつながる。		
パターンA 【講座視聴】 13分	放牧酪農③ 放牧牛と牧草から環境を考える (動画視聴：0:00～12:54)	講座を視聴する。	YouTube動画
【個人ワーク】 0分	必要に応じて個人ワークを自主課題として取り組むよう伝える。		ワークシート
パターンB 【講座視聴】 3～6分	放牧酪農③ 放牧牛と牧草から環境を考える 授業で扱いたい内容を選択して視聴する。 ・牛の消化 (0:31～3:36) 約3分 ・飼料の種類 (3:37～9:11) 約6分 ・排泄物の処理と利用 (9:12～11:35) 約3分	講座を視聴する。	YouTube動画
【個人ワーク】 7分	ワークシート右ページのQ2 「舎飼いと放牧で酪農を行う場合のメリットを「労働」「牛の健康管理」「環境」の観点からそれぞれ考えてみましょう。」に取り組むよう伝える。 学生/生徒の記入が終わった頃に解答例を伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【まとめ】 3分	本日のまとめを伝える。 ・放牧を活用することで、人の労働や飼料費の削減といった経営的メリット、資源の循環活用や二酸化炭素排出量の削減といった環境的なメリット、牛が健康に育つというメリットがある。 ・放牧の実践のためには、牛の体の仕組みの理解を深め、牧草地の管理方法を学んでいくことが必要。		
【アンケート】 1分	アンケートを記入するよう伝える。	アンケートを記入する。	アンケート